

科目名「障害者歯科学Ⅱ」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	野本 たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-13	
単位数	1	
学習目標 (G I O)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害児者の身体的・精神的・社会的背景ならびにそれらによって引き起こされる行動特性を十分に理解し、個々に適した口腔保健活動を担う歯科衛生士としての知識を修得する。	
担当教員	野本たかと、伊藤政之、梅澤幸司、田中陽子、遠藤眞美、井樋加奈子	
教科書	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修 (医歯薬出版)	
参考図書	歯科衛生士のための 障害者歯科 第3版 緒方克也 監修 (医歯薬出版) スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 日本障害者歯科学会 編 (医歯薬出版)	
評価方法 (E V)	平常試験と定期試験を最終評価とする。平常試験、定期試験ともに各講義担当教員が出題し、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。最終評価が60点に達しない場合には、全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が未永く住み慣れた地域でのQOLが保たれた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 9/30	精神障害と 歯科医療 その1・2 基本的事項・歯科 治療上の注意事項	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 精神障害者について基礎的知識の修得と歯科診療上必要な配慮について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 精神障害について説明できる (統合失調症, うつ病, 双極性障害, 気分障害など) 2. 1に対する歯科診療上の配慮を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 障害者基本法 復習時間: 60分, 復習内容: 精神障害の基本的事項と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して, 精神障害の基本的事項と歯科診療上の配慮を学ぶ	★遠藤眞美

<p>第2回 10/7</p>	<p>中途障害と歯科医療 その1 基本的項目</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 厚生労働省指定難病の対象について説明できる 2. よく見られる中途障害の原因とその病態について説明できる (脊髄損傷, 慢性関節リウマチ, Parkinson病, 脊髄小脳変性症, 筋委縮性軸索硬化症, 高次脳機能障害, 慢性代謝疾患など) 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 身体障害者手帳の等級 復習時間: 60分, 復習内容: 中途障害と病態 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して, 中途障害の定義と特徴について学ぶ</p>	<p>★梅澤幸司</p>
<p>第3回 10/21</p>	<p>中途障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 中途障害や難病により歯科診療上配慮が必要な人々の存在を認識し、基礎的な医学的知識と歯科的対応について修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 中途障害や難病における口腔機能の特徴を説明できる 2. 中途障害や難病の患者の歯科治療で配慮すべき項目を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 分, 予習内容 復習時間: 分, 復習内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して中途障害・難病の歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★梅澤幸司</p>
<p>第4回 10/28</p>	<p>障害児者の 身体・心理発達</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害児者における身体・心理発達およびその関連背景を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 発達段階および発達検査を説明できる 2. 障害児者の問題行動と発達心理の関係性について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 障害の発生 復習時間: 60分, 復習内容: 身体及び心理発達 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★田中陽子</p>

<p>第5回 11/11</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用 1</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科診療場面における行動療法の意義を理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 行動療法の基礎となる学習理論・行動療法について説明できる 2. 歯科診療に行動療法を応用する意義と基本的考えを説明できる 3. 障害児者の行動上の特徴について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：身体及び心理発達について 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して学習理論について学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>
<p>第6回 11/18</p>	<p>歯科診療に対する 行動療法の応用 2</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科診療場面にみられる障害児者の行動に対する適切な行動療法の適切な応用方法を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物を用いない行動調整法について説明できる 2. 薬物を用いた行動調整法について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：学習理論 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，歯科診療における行動調整法を学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>
<p>第7回 11/25</p>	<p>平常試験1 および解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 平常試験1までの講義内容が習得できているか確認し自己評価と再習得が出来る 【行動目標 (SBOs)】 1. 精神疾患と歯科治療 2. 中途障害と歯科治療 3. 心理発達 4. 行動調整法 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：1回から6回の講義内容 復習時間：60分，復習内容：自己評価と再習得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 試験を介して知識習得の確認と解説を介して不足内容の再習得</p>	<p>★遠藤眞美 ★梅澤幸司 ★田中陽子 ★伊藤政之</p>
<p>第8回 12/2</p>	<p>障害児者に対する 歯科診療への導入 診療補助とFour Handed Dentistry</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害児者の歯科治療におけるFour handedを基本とした診療補助について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 診療設備の配置について説明できる 2. Four Handed Dentistryを円滑に行う方法を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：行動調整法 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本たかと</p>

<p>第9回 12/9</p>	<p>障害者の 歯科治療の特徴</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害児者に対する実際の歯科治療における工夫と配慮について理解する 【行動目標 (SB0s)】 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：行動調整 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★田中陽子</p>
<p>第10回 12/16</p>	<p>障害者歯科医療に おけるリスク管理</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害児者の歯科治療における医療事故と予防，配慮について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 1. 歯科診療場面のリスク評価と安全管理について説明できる 2. 医療事故の原因と予防対策について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害者の行動特性 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★野本たかと</p>
<p>第11回 12/23</p>	<p>障害児者のための 口腔保健 その1：基本</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害者における口腔機能管理の重要性について理解する 【行動目標 (SB0s)】 1. 障害児者における口腔機能管理の目的について説明できる 2. 障害児者における口腔機能管理の基本的事項を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：口腔機能の発達 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤真美</p>
<p>第12回 1/20</p>	<p>障害児者のための 口腔保健 その2：実践</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科衛生士として障害児者の包括的な口腔管理についての知識と具体的手法を修得する 【行動目標 (SB0s)】 1. 障害児者の介護者への口腔機能管理指導を説明できる 2. 障害児者の口腔管理の具体的計画立案・方法を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害児者の口腔保健の基本的知識 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★井樋加奈子 (野本 たかと)</p>

<p>第13回 1/27</p>	<p>摂食嚥下リハビリテーション 障害の病態と回復</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 健康増進支援のための摂食嚥下リハビリテーションの重要性を理解する 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 小児の摂食嚥下機能について説明できる 2. 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害の発生 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★遠藤真美</p>
<p>第14回 1/29</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その1 基本的事項</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害者のための適切な地域歯科医療保険ならびに医療の提供が実施できるように基本的な医療システムについて理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者への歯科医療を提供できる場の機能を説明できる 2. 医療連携が必要な障害者と環境因子を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害者のおかれた社会環境 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★梅澤幸司</p>
<p>第15回 2/5</p>	<p>障害者地域歯科保健・医療の提供 その2 保険制度と周術期における医療連携</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 社会保障制度に基づいた地域障害者歯科保健・医療を適切に提供するための基礎的知識を修得する 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療のニーズ，ダイヤモンドについて説明できる 2. 周術期における地域連携について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害者医療における地域連携 復習時間：60分，復習内容：講義内容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★田中陽子</p>